

	<h1 style="text-align: center;">進取の気概</h1> <p style="text-align: center;">(校長室だより)</p>	<p style="text-align: center;">有田市立箕島中学校</p> <p style="text-align: center;">自主 友愛 剛健</p>	<p style="text-align: center;">R5・6・13</p> <p style="text-align: center;">No.12</p>
---	--	--	---

校内意見発表会のみなさんの感想をすべて読みました。みなさんの感想を読んで、どの人の感想も発表をしっかりと聴き、自分が思ったことを素直な気持ちでしっかりと書いていました。読んでいてとてもうれしかったです。全部紹介したいのですが、紙面の都合もあり、いくつか紹介します。みんなでシェアしましょう。

今日の発表を聴いて、私は上野山君の発表が印象に残りました。小学校とは人数も違い、考え方も成長した1年生の頃を思い出しました。初めは不安が大きかったけれど、少しずつ友達もできて学校が楽しくなりました。また、中学生になると自分の将来について考えることが多くなり、私も何がしたいのかわからなかったけれど、2年生になってやりたいことを見つけたので共感できました。(3年生)

みんな緊張する中発表していてすごかったです。環境問題について発表している子が多くて、自分も去年環境について少年メッセージで発表したので共感できました。熊野みかさんの、身近なところからできることを探し、問題意識を持つということが心に残りました。そして、台風や最近のとても強かった雨の影響で家が浸かったりした人の気持ちを考えて自分にできることを考えて生活していきたいです。(2年生)

今日の意見発表会で心に残ったのは石橋さんの地元のために今できることで自分も地元の有田大きく見れば和歌山がいつどのような形で災害に巻き込まれて変わったり、もしかしたら全然違う形になっているかもしれない。そんな時に自分にできることは何かよく考えることができました。自分だったら少しでも早くに復旧できるように手伝ったり声掛けをしたりできることはたくさんあると思いました。そんな地元を守りたいです。(3年生)

私は、2年3組の福林瀬奈さんの作文が心に残りました。言語・文化・肌の色の違いで差別される人々がいるということを忘れてはいけない、と思いました。生まれてから全く同じ人なんてこの世界にいないんだなと思いました。「それぞれの個性が認められる世界になってほしい」と言っていたけど、その通りだなと思いました。

みんな大きな声で発表できていて、とても聞き取りやすかったです。私も、今日発表していた子たちみたいに、私も、環境問題や差別など、あらゆる問題に目を向けて、今自分にできることを精一杯頑張りたいと思います。(1年生)



宇野さんの少年メッセージがいいと思いました。みんなと違うジャンルの話でした。サッカーの話でライバルの大切さや努力の大切さについてわかりました。何事にも諦めずにやり遂げたいです。宇野さんのように敵と呼ぶのではなく、相手と呼ぶようにしたいです。(2年生)



一人一人違う考え方で自分の考えをしっかりと持って発表していてすごいと思った。自分は全然考えていなかったことも必死に考えている人がいて他人事で考えていたこともあったけど私も考えようと思直せた。この考えを聞いて私も思っていたこと考えていたことがあってなんで誰もわかってくれないのだろうと今日まで思っていたこともあったけど一緒にのことを考えている人がいてすごく安心した。みんなの意見はすごく良くて一つ一つの言葉が心に刺さったけど、特にいいなと思ったのは1年2組の赤松真帆ちゃんの発表だった。生きる命。この発表を聞いて、病気で学校にいけなものが普通の子もいるし学校に行けるのが普通って子もいる。一人一人の普通は全然違うんだと思った。この作文で生きる大切さを知れたから私は私の人生を精一杯自分らしく生きようと思えた。真帆ちゃんは今自分が生きていけている理由もしっかり書いていて素敵だと思った。たくさん人の考えのおかげで自分の人生を振り返るきっかけになった。これからはもっと考えて生きていきたい。(1年生)

皆、はきはきと堂々とした態度で発表していてすごいと思いました。特に横山甘奈さんの発表が心に残りました。「家族に支えられている」「毎日いろいろな人に支えられている」という意識が生きていく中で大切だなと思ったからです。環境問題に関したものの、人としての行い、考えにかんじたものなど人によって題材は様々で様々な見方、考え方がありました。だから一つのことにとらわれて一つの見方しかできないのではなく一つの問題に対しても違った別の面で考えていくことが大切だと思いました。(2年生)

私は脇村佳奈さんの発表が心に残りました。この前私の曾祖母が亡くなりました。だから、脇村さんの祖父母に関する話にとっても聞き入りました。小さいころから愛してもらっているけど、一人でいたいときにたくさん話しかけられたり、帰りが遅くなると過剰に心配してきて、鬱陶しいという話が祖母のことを思い出させました。また、私が生まれる前に亡くなった祖父と、いま入院している祖母は戦争を経験していて、脇村さんの「現在は戦争をしていた時より贅沢で便利だけど、祖父母の世代の人たちはその便利さに取り残されているような気がする」という話にとっても共感しました。私は生前の祖母を鬱陶しく思う時があって、適当に話を聞き流したことがあったけど脇村さんの発表を聞いて、少し後悔しました。自分を愛してくれている祖父母や家族を悲しませないために、まずは自分を大切にしていきたいという脇村さんの考えを頭にいれておきたいです。(3年生)

やっぱりそのクラスの代表で発表している人達なので、自分の作文と比べるとやはり完成度がとても高かったと思う。メモには要点しか書いていないが、使うキーワードなどがとても印象を与えるものであった。特に1年1組の土岐柚月さんの「自分の個性は自分しか発揮できない」という言葉が印象に残った。この言葉を聴き、これからはもっと自分の個性を出せるようにしたいと思った。そうしてこのような機会に沢山の人の意見や主張を取り入れ、自分に活かしていきたいと思った。(3年生)

発表者みんなよかったです。そのなかでも私が最もいいなと思ったことは田中紅姫さんの「一人一人の個性を大切に」です。自分と全く同じ人なんてこの世に誰一人存在していない。それは、みんなの個性が一人一人違うから。自分の個性にあってもいなくても夢に向かって一生懸命進む。と言っていた時、私はすごく納得しました。自分のあっている夢って一体何なんだろうと思っていた自分にまるで言い聞かされているようでした。私は何事にも夢に向かって前進していきたいです。たとえ、自分の個性にあっていなかったとしても。一つ一つの努力は必ずいつか自分に返ってくる。私はそう信じて、これから生き続けていきたいと思えます。(1年生)



一文一文をはっきりと話し、視点を変えたり、話すときの強弱、問いかけなどを入れていて、分かりやすく具体的に話していたのでとてもすごかったです。特に福島 苺さんの発表がすごかったです。なぜなら、周りを見渡しながらか弱をつけ表情をつけてより分かりやすくはなしていたからです。また、福島 苺さんだけじゃなくてほかのみんなも自分の気持ちをしっかり言葉にしてすごく、説得力のある発表だと思いました。そして、一人一人の題にも、とても感動しました。普通みんなは自分がやろうと思っていてもできないことがたくさんあるけど、きょう発表してくれた人は、世の中についてしっかりと考え、みんなに伝えることができていたので、すごいなと、見とれてしまいました。来年も少年メッセージは、あるので今日発表してくれた人のことをもとに今年より良い文章を書けるようにしたいです。(1年生)

皆さん大きな声でとてもわかりやすかったです。最後の発表者の福島さんの防災と支援の話が凄かったとおもいました。福島さんは中学校生活を一生の宝物にすると言っていたので私はまだ中学校に入ってきたばかりですが、中学1, 2, 3, つらいこともあるけれど、もちろん楽しいこともあるからこれからも箕島中学校で皆と頑張っていきたいと思いました。



上野山さんが言っていたことですが、物事の見方や人間関係などもう一度やり直していきたいです。(1年生)

この意見発表会で去年の発表会よりもレベルがあがってる気がしました。僕が書くような文よりも圧倒的に強くて、1年の発表でも刺さりました。特に三年生の発表がすごくて大人が書くような文でした。そして何よりもこの意見発表会では考えさせられることが多かったです。人種差別や環境問題、感謝の気持ちなど普段は気にしてないことが気になってしまいました。みんなすごく緊張していただろうけど本当にわかりやすかったです。僕もこんなレベルになりたいです。(2年生)

皆のためにできることや人へのかかわり方などを述べている人が多く、何事にも自分から取り組み、自分を大切にし、誰かのために、みんなのためにするためには自分から行動するということを感じさせられた。世代関係なく、差別もなく、一人一人がありのままの姿を受けいられる世界になればいいなと思った。人とのかかわりだけでなく、環境問題からも今出来ることを実行し、心がけようと思った。(2年生)

発表してくれたみんな、ゆっくりはきはきとしやべってくれていたのととても聞き取りやすく、内容をしっかりと理解することができました。そして、発表してくれたことについて自分の視点から考えることができました。今回発表してくれた意見を、今日だけ考えるのではなくて、日々の生活の中でも考えたり、取り組めることがあれば自分から見つけて取り組んでいきたいと思いました。(2年生)

11名の皆さんは、あの舞台上、自分が思っていること、考えていることを堂々と発表できていてすごいと思いました。環境問題、人種差別、災害といったこの世界における、大きな課題について、どのようにすれば、なくしたり、減らしたりできるのか、たくさん考えて、聞いている僕たちに訴えたいという強い気持ちがとても伝わってきました。また、学校生活をはじめ、日々の生活でお世話になっている人への感謝の気持ちを改めて伝えたいといけなかったと思いました。これからの日本、そしてこの地球がどうなっていくのかまだ誰にもわかりません。だからこそ、今を大切に、周りの家族、友達、大切な人を支え、誰もが、死ぬまで幸せに、差別なく平等に生活できる社会に向けて、自分たちも協力していかないといけないと思いました。(2年生)

呼びかけや体験談が多くあり、とても聞いていてわかりやすかったです。例も多くあり、それぞれの意見に説得力がありました。普通に生きていることは当たり前ではない、毎日たくさんの人に支えてもらっていることを改めて考えられました。また、自分の個性は自分でしか発揮できないし、周りのことを大切にするにはまず自分を大切にすることが大事だと思いました。世界中で起きている問題は、だれか一人だけでは解決できないけど、一人一人が自分にできることをやり、一人一人の努力が大切です。「勇気は一瞬、後悔は一生」という言葉が特に心に残りました。自分の考えに関連付けて聞けました。普段考えることのない新たな見方、考え方を見つけられました。今日学んだすべてのことをこれからの生活で活かしていきたいです。(3年生)

合計11人の意見は十人十色でいろいろな意見があって面白かった。「うんうん」とうなずいて同情する意見もあったけど、「そんな考え方があるんだ」と思うような意見もあった。来年もあると思うから、今度は自分があの舞台上の上に立って、意見を発表してみたい。特に印象に残ったのが甘奈さんの意見。僕たちはみんなに支えられていて、生きている。だからこそ感謝を表して、「ありがとう」と言いたい。(1年生)



発表者は、一言一言丁寧に発表していました。僕らは、それを真剣に目で聞く、心で聞く、耳で聞くことが達成できました。地球温暖化、差別、いじめのことや、色々発表してきているほどと納得いくような、発表していて、素晴らしかったです。(2年生)



環境問題や人種差別、SNSでの誹謗中傷などの現状の問題について考えさせられました。赤松真帆さんの生きる命についての発表では、自分も死んだらどうなるのだろうと死についてのことを考えたことしかなかったから今回の発表を聞いて生きることについて、自分にとっての普通の生活について考えないといけないと思いました。今の時代はインターネットを使う社会になってきているからそういう社会での生き方や気を付けなければいけないことについても考えさせられました。環境問題では自分にとっては遠い存在のようなものだと思っていたけれどこれからは自分が住んでいる地球に関わることだから自分たちにできることを考え少しでも地球のためになることをしていきたいと思いました。今回の発表で自分の頭の中にはなかったことや気づかされたことなどたくさんあったからこれからは今日発表してくれた人の意見を視野に入れて考えていきたいと思いました。(1年生)

環境問題は、今まで少し遠い未来の話だと思っていたけれど、今回の話を聞いて少し危機感を持った。環境問題を少しでも減らそうとすることは自分1人では無理だけれども、意見発表会を聞いた箕島中学校の生徒や世界中の人々が意識をすることで地球が変わると思った。(3年生)

どの発表者もみんな聞き取りやすい声で、わかりやすかったです。自分の一つの行動が、いい方向にも悪い方向にも働くことがあるから、それを気にして生活していきたいと思いました。みんなそれぞれ違う意見で人によって着眼点が違ったりするから、きいていてとても考えることができました。どの意見も全部共感できる部分があっすぎてよかったです。自分にはできないことなので発表した人たちはすごいと思いました。(3年生)

みんないろいろな考えをもって考えていてすごいなと思いました。また考えが少し似ている人もいてたけれど考えが違っていてしっかり考えてるなと思った。みんな幅広く世界の問題も取り入れていてすごいと思った。身近なものでも身近ではないものでもしっかり自分の意見や対策などを書いていていいなと思った。みんなの意見を聞いて自分の行動ももう少し意識していきたいと思った。(3年生)